

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	臨床実習 1	実習	2	90	基礎柔道整復学1～4 臨床柔道整復学1～4 柔道整復実技1～5
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科 2年	錦織輝礼・小澤健史・太田直樹・ 小澤恵美・井口満広・南沢 悟	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	附属臨床施設鍼灸(接骨)外来担当での実務から、臨床の場面での疾患鑑別に必要な知識を学びます。		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>卒業後の接骨院での業務に入る際の基本的事項を身に付ける。 身なり・言葉づかい・施設の使用法・受付業務、患者対応を指示されなくても実行できるようにする。 その後、評価・治療など具体的な柔道整復術の活用方法を考案できるようにする。 また以下の2項目での外部臨床実習を行う。 ①スポーツ現場(柔道救護活動)の活動の補助・見学(骨折・脱臼などの新鮮外傷を観察・評価を体験する。) ②学外臨床実習(臨床実習指導者のいる、学外の接骨院にて研修を行い、臨床現場を体験する。)</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>実務家教員により、接骨院・整形外科等での臨床経験を活かし、患者対応から柔道整復術の適応判断・評価・ 施術方法について学ぶ。 また、スポーツ現場や外部臨床実習施設での臨床実習を行い、施術見学や施術補助を通じて実際の現場で 発生する外傷対応の詳細について学ぶ。</p>					
教科書・参考書					
柔道整復学 理論編 柔道整復学 実技編					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなす)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】 ●身なりの確認は厳重に行う。(白衣の清掃、名札、髪の毛など) ●授業資料が配られた場合、ファイリングする。 ●レポート課題が提出されることがあるが、期日を守る。</p>					
成績評価方法					
評価 方法	評価 割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期 試験	80	レポート課題(臨床実習において、授業後にレポート作成させ評価する。) スポーツの救護活動・学外臨床実習の参加態度とレポートも加味する。			
その他	20	出席率・授業態度・身なりを20点分として換算する。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		2年生次の臨床実習ガイドンス 学外臨床実習・スポーツの救護 活動についての実施方法を知る。		/	錦織
2		昨年度・臨床実習活動報告 外部臨床実習・柔道の救護 活動についての活動概要を知る。		/	錦織
3		救護活動に必要な問診技術① 学外臨床実習時に必要な学習・ 技術の再確認		/	錦織
4		救護活動に必要な問診技術② 学外臨床実習時に必要な学習・ 技術の再確認		/	錦織
5		救護活動に必要な問診技術③ 学外臨床実習時に必要な学習・ 技術の再確認		/	錦織
6		救護活動に必要な簡易固定① 軟性の固定具を使った固定を体験する。 学外臨床実習時に必要な学習・ 技術の再確認		/	錦織
7		救護活動に必要な簡易固定② 硬性の固定具を使った固定を体験する。 学外臨床実習時に必要な学習・ 技術の再確認		/	錦織
8		救護活動に必要な簡易固定② 応用的な固定具を使った固定を体験する。 学外臨床実習時に必要な学習・ 技術の再確認		/	錦織
9		救護活動に必要な徒手検査① 学外臨床実習時に必要な学習・ 技術の再確認		/	錦織
10		救護活動に必要な徒手検査② 学外臨床実習時に必要な学習・ 技術の再確認		/	錦織

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		柔道整復術の活用方法 ※学外臨床実習オリエンテーション		/	錦織
12		柔道整復術の活用方法① ※学外臨床実習での課題の把握 その課題の文章化をする。		/	錦織
13		柔道整復術の活用方法② ※学外臨床実習を想定した準備 必要な準備を文章化する。		/	錦織
14		柔道整復術の活用方法④ ※学外臨床実習を想定した準備 必要な準備を文章化する。		/	錦織
15		柔道整復術の活用方法⑤ ※学外臨床実習を想定した準備 臨床実習の際の注意事項の確認		/	錦織
16		スポーツ活動現場の見学・実習① (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
17		スポーツ活動現場の見学・実習② (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
18		スポーツ活動現場の見学・実習③ (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
19		スポーツ活動現場の見学・実習④ (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
20		スポーツ活動現場の見学・実習⑤ (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		スポーツ活動現場の見学・実習⑥ (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
22		スポーツ活動現場の見学・実習⑦ (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
23		スポーツ活動現場の見学・実習⑧ (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
24		スポーツ活動現場の見学・実習⑨ (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
25		スポーツ活動現場の見学・実習⑩ (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
26		スポーツ活動現場の見学・実習⑪ (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
27		スポーツ活動現場の見学・実習⑫ (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
28		スポーツ活動現場の見学・実習⑬ (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
29		スポーツ活動現場の見学・実習⑭ (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
30		スポーツ活動現場の見学・実習⑮ (柔道の救護活動) 実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		学外臨床実習① 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者
32		学外臨床実習② 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者
33		学外臨床実習③ 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者
34		学外臨床実習④ 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者
35		学外臨床実習⑤ 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者
36		学外臨床実習⑥ 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者
37		学外臨床実習⑦ 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者
38		学外臨床実習⑧ 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者
39		学外臨床実習⑨ 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者
40		学外臨床実習⑩ 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
41		学外臨床実習⑪ 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者
42		学外臨床実習⑫ 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者
43		学外臨床実習⑬ 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者
44		学外臨床実習⑭ 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者
45		学外臨床実習⑮ 実習先・実習内容は別紙参照		/	臨床実習 指導者
				/	
				/	
				/	
				/	
				/	